

「あああ〜太田川のせせらぎで、台湾、旅ガラスからの広島慕情」

歐 元韻

＜大盛況の観光 PR イベント「広島探訪」＞

5月に先進7か国首脳会議（G7サミット）が広島市で開催されましたが、その期間は台湾でも連日関連ニュースを報道していました。一足早い4月、広島をアピールする観光物産イベント「広島探訪」が、台北市近くの三井アウトレットパーク台湾林口店にて開催され、当日は私も含めて多数の広島好きが集まり、さらにそこに週末のショッピングを楽しむ人たちも加わり大盛況でした。広島県の湯崎知事も登場し、会場は大いに盛り上がりました。広島県観光連盟の「HIT ひろしま観光大使」に登録している私も、思わず記念写真をお願いしてしまいました。

今回のイベント開催の目的の一つがコロナ禍で運休していた広島-台北間の直行便再開を記念した催しと聞いていたので、自称広島-台北間の旅がらすの私としては、再び旅に出る翼を得られた喜びと相まって魅力満載のイベントとなりました。その他にも会場には広島の有名企業、もみじ饅頭で知られたにしき堂、バームクーヘンの櫛（くぬぎ）、ホテルのヒルトン広島、観光農園の世羅高原農場が展示コーナーを設け、会場を訪れる人たちへ PR しました。

各社からは台湾の人たちへのプレゼントも用意されており、クイズやじゃんけん大会形式での抽選会も行われました。旅がらすとしては旅先での一夜の宿を求めるのは至極当然のことで、猛然とヒルトン広島の抽選会に挑みましたが、結果はあえなく玉砕しました。今回のイベントを私の後ろで立ち見していた台湾人の台湾広島カープ会会長は、言葉は交わさなくてもその様子から既に次のカープ観戦スケジュールの調整に入っていることがうかがえます。恐らく会場にいた台湾の人たち全員がこの機会に広島への関心を高めたことと思います。

＜動き始めたビジネス＞

G7サミットの報道では、私の目は自然と先進国の首脳の姿より、平和公園や太田川、宮島といった懐かしい風景を追いかけてしまいます。こうして私がのんびりと広島慕情に浸っている間にも、コロナ禍後の台湾社会はその動きを一気に加速させています。私の周りでも知り合いの多くが日本に出張し、また日本から

もビジネス訪問の問い合わせが日に日に増してきています。

春先から台湾では立て続けに国際旅行展、国際美酒展覧会、コンピューター見本市・イノベックス展、フード台北国際食品展といったメガ級の展示会が開催されています。今後広島県内企業も台湾を目指す動きが活発化してくると思います。

最後に少しオーバーですが、私が留学生時代に学びやとして慣れ親しんだ広島大学の象徴樹木、フェニックス（不死鳥）には特別な感情が湧いてきます。原爆からの復興、コロナ禍からの復興、私個人も旅がらすから少し格好よくフェニックスとして羽ばたきたいなあ〜などという妄想で締めくくらせていただきます。



【「広島探訪」の会場を訪れた湯崎知事】

8月10日から、オンデマンドセミナー「事例から学ぶ、イマドキの海外展開。」が配信開始されます。

台北編では、台湾企業の販路開拓&販路拡大におけるマーケティング戦略など、日本企業の参考となる事例をご紹介します。ぜひご視聴ください。

こちらの記事は、中国新聞 SELECT

「最前線ビジネスサポーター発」にも一部掲載されました。